

浜の活力再生プラン
令和 5～9 年度
第 2 期

1 地域水産業再生委員会

組織名	伊良部地区地域水産業再生委員会
代表者名	伊良波 宏紀（伊良部漁業協同組合 代表理事）

再生委員会の構成員	宮古島市、伊良部漁業協同組合、伊良部漁協小型船主会、伊良部漁協追込網・潜水器部会、伊良部漁協青壮年部、伊良部漁協モズク養殖業部会、伊良部漁協民泊部会
オブザーバー	沖縄県宮古農林水産振興センター、佐良浜振興会（中村雅弘）

※再生委員会の規約及び推進体制の分かる資料を添付すること

対象となる地域の範囲及び漁業の種類	<p>地域：宮古島市伊良部（伊良部漁業協同組合の地区）</p> <p>漁業種類：</p> <p>鰹一本釣漁業 20 名</p> <p>小型曳縄漁業 19 名</p> <p>追込み網漁業 6 名</p> <p>潜水器漁業 10 名</p> <p>モズク養殖業 5 名 合計 60 名</p> <p>※令和 4 年 4 月現在（漁協調べ ※引退予定者を除く）</p>
-------------------	--

※策定時点で対象となる漁業者数も記載すること

2 地域の現状

(1) 関連する水産業を取り巻く現状等

伊良部地区は離島である沖縄のさらに離島である宮古島市の中の離島の一つにあり、年間を通して温暖な気候のもと、曳縄漁業、鰹一本釣漁業、潜水器漁業、追込網漁業、一本釣漁業などの漁船漁業が盛んな地域である。国内におけるパヤオ（浮魚礁）発祥の地としても名高く、全国に先駆けてパヤオでの漁業を行ってきた経緯もある。先に述べた曳縄漁業や鰹一本釣漁業によってパヤオを活用した操業を主に行っており、地域の基幹産業として定着している。中でも、当地域の鰹一本釣漁業によって供給されるカツオの漁獲量は、実に沖縄県内での流通量の七割を占めているほか、県内で当地域のみで行われている伝統漁法のアギヤー漁（追込網漁業）によって漁獲される、沖縄県の県魚でもあるグルクン（タカサゴ類）についても、県内流

通量のほとんどを当地域が賄っており、カツオとグルクン、ともに県内屈指の供給基地として沖縄県の食文化を支えている。

当地域は離島という環境にあるために、地域内消費だけでは大漁時に値崩れを起こしてしまうことが多々あり、台風による影響を最も受ける地域でもあるため、それによる休漁も多く、周年を通して安定した収入を得ることが困難な状況にある。離島地域であるため漁業資材の輸送コストが他の地域よりも高額となっているほか、水産物の販売単価向上を図るために行っている沖縄本島や県外出荷も、輸送費、梱包資材費、氷、保管料などの各種輸送コストがかかる上に売り値も安定しないのが現状である。

これらの事由が当地区における漁業の魅力を下減させ、新規就業者の確保の妨げになっている。そのため漁業者の高齢化も著しく、先に述べたアギヤー漁や、鯉一本釣漁業を支える餌獲りのための網漁業、潜水器漁業、銚突きなどの衰退をもたらしており、それが漁獲量や水揚げの魚種の減少に繋がり、県内における魚食普及においても多大な影響が出ている。

そのほか、平成 29 年度における鯉一本釣漁業の 1 経営体あたりの販売実績は 33,919 千円であったが、漁業者の高齢化や高船齢化による経営体数の減少及び休業等の影響により、平成 30 年には 29,677 千円、令和 3 年度に 27,151 千円に減少している。

また、伊良部漁協においては漁具や漁業資材の保管倉庫や燃油タンクの老朽化が進んでおり、漁業経費を抑えるための軽油の転換や併用の支障となっている。そのため、これらの老朽化施設の更新は急務であり、次期浜プランを推進していくために整備を行う必要がある。

一方で、若手の漁業者によるモズク養殖業などの参画が平成 29 年から始まっており、県や市の知見の活用や試行錯誤を重ねることで、H30 年では 3 経営体で 1 経営体あたりの販売実績が 947 千円であるのに対し、R2 年では 5 経営体となり、1 経営体あたり 1,274 千円に増加した。

H30 年 6 月には宮古島市海業支援施設が開所し、伊良部漁協による販売事業による食堂経営や加工事業などの取組が始まっており、水産物の買取りを食堂で行うことで魚価の安定化に繋がり、漁業経営の一助となっているほか、令和 3 年から地元学校給食の提供なども開始しており、伊良部地区の魚食普及の基地として重要な役を担っている。

以上のように、離島地域としての輸送上の不利性や高齢化、高船齢化が著しく、特に新規就業者の確保や基幹産業の維持は喫緊の課題となっているが、モズク養殖業のように増加傾向を示す有望な漁業種もあるほか、食堂経営や学校給食への食材の提供など、地域の活性化につながっている側面もある。

引き続き、魚価向上やコスト削減の取組を実施することで漁家経営の安定化を図るとともに、各取組に必要な補助事業などを積極的に活用するほか、当再生委員会と漁業者が連携していくことで持続性のある取組を計画し、地域の活性化に繋げていく必要がある。

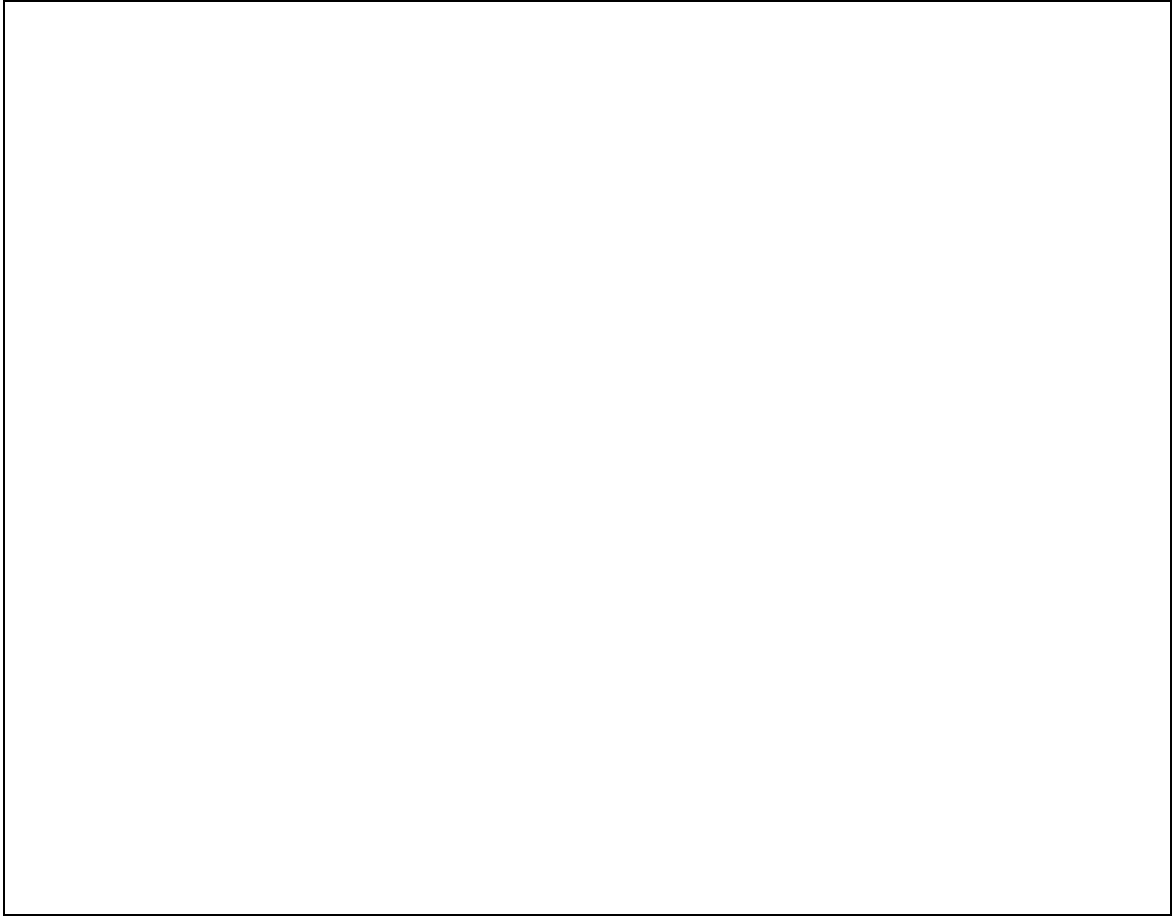
(2) その他の関連する現状等

平成 27 年の伊良部大橋開通と伊良部漁協主催の大漁まつりなどのイベントによる地区の PR や、観光事業による PR などが功を奏し、水産物の島内需要が増加した。宮古島を訪れる観光

客数は平成 30 年度に 100 万人を突破し、更なる需要増加が期待された。ところが、その後の蔓延した新型コロナウイルス感染症拡大防止による影響で観光客数は急激に落ち込み、それと共に島内需要も低迷して現在に至っている。

3 活性化の取組方針

(1) 前期の浜の活力再生プランにかかる成果及び課題等



(2) 今期の浜の活力再生プランの基本方針

●魚価向上のための取組

①島内外出荷の安定化と推進及び作業保管施設の整備

漁協は、大漁時における供給過多による値崩れを防ぐために島内の流通量を調整する体制をつくる。そのため、島外出荷を推進し、出荷漁業者を増加させ魚価の安定を図る。

漁協は、その取組に必要な、大量の梱包資材、漁具及び漁業資材等を保管するための作業保管施設の整備を行う。

・大型マグロの島外出荷推進

漁協は、仲買人が捌ききれず、漁協の大量保管も難しい30kg以上のマグロの島外出荷を推進し、島外出荷量を増加させることで、供給先の大部分を占める島内販売における値崩れの防止に繋げ、島内販売における魚価の安定化を図る。

②メバチマグロの鮮度保持による高付加価値化

漁協と漁業者は、人気は高いが日持ちが悪く魚価が下がり易いメバチマグロについて、血抜き、神経締めなどの鮮度保持技術とブライン冷凍技術により、魚価の向上と漁期以外の販売量の増加を図る。

③小型マグロ類などを活用した加工品開発による高付加価値化

漁協は、宮古島市海業支援施設の加工室を活用し、値崩れしやすい小型マグロ類を使った付加価値の高い水産加工品を開発・販売することで、原料の買い取り体制をつくる。

漁業者は、原料確保のために安定的に供給を継続して行い漁業収入を向上させる。

④モズク養殖業の規模拡大と複合経営の推進

漁協は、モズク養殖業について特定区画を拡大するとともに現行の漁業権行使規則を改正し、一人当たり設置できる網の上限を 300 枚から 600 枚へ増加させることで、モズク生産量の増加を図る。漁業者は、展張する網を 1 人あたり毎年 10 枚ずつ（5 年間で 50 枚）増やし、モズクの生産量と所得の向上を図る。

また、漁協と漁業者は、鰹一本釣漁業の活餌を主に漁獲している追込網漁業の従事者を中心にモズク養殖の兼業を推進することで、従事者の所得向上とモズクの販売量の増加を図り、新規就業者確保に繋げる。

●漁業経費（コスト）削減のための取組

⑤セーフティネット事業加入の推進

漁協は、セーフティネット事業の加入者増加の推進を行い、漁業者の経費削減を図る。

⑥減速航行、船底清掃による燃油コスト削減

漁業者は、減速航行、船底清掃の励行により燃油消費量を抑制する。

⑦A 重油から軽油への転換の推進

漁業者は、燃料をより機関に負担がかからず、整備もしやすい軽油に転換することで、燃油コスト削減を図る。漁協は、そのため必要な燃油補給施設の整備を行う。

(3) 漁獲努力量の削減・維持及びその効果に関する担保措置

伊良部漁協では、沖縄県漁業調整規則で定められた特定魚種の体長、漁期等に係る制限、共同第 22 号および 23 号漁業権行使規則、マチ類の資源管理に係る沖縄海区漁業調整委員会指示のほか、伊良部漁協小型船主会による、曳縄漁業、鰹一本釣漁業の出漁日数の制限なども含め、遵守するよう組合員に対して指導している。

※プランの取組に関連する漁業調整規則や漁業調整委員会指示等について記載する。

(4) 具体的な取組内容 (毎年ごとに数値目標とともに記載)

1年目 (令和5年度) 所得向上率 (基準年比) 0.6%

<p>漁業収入向上のための取組</p>	<p>【漁業収入向上対策】</p> <p>① 島内外出荷の安定化と推進及び漁具倉庫の整備</p> <p>(1) 漁協は、漁業者が出荷する魚価の安定化を図るため、仲買人が捌けてない漁獲量と販売量を把握し、島外出荷に向けた検討を行う。</p> <p>(2) 漁協は、今後必要となる梱包資材、漁具及び漁業資材等を保管する作業保管施設の整備について検討する。</p> <p>② メバチマグロの鮮度保持による高付加価値化</p> <p>(1) 漁協と漁業者は、メバチマグロの活〆技術や鮮度保持技術について勉強会等を通じて、鮮度保持技術の定着と普及を図る。</p> <p>(2) 漁協は、既存のブライン冷凍等を用いた鮮度保持技術の活用について検討する。</p> <p>③ 小型マグロなどを活用した加工品開発による高付加価値化</p> <p>(1) 漁協と漁業者は、小型マグロ類の漁協直営店の売上向上の他、島内飲食店を視野に入れた出荷先の開拓と高付加価値化について情報収集に努める。</p> <p>(2) 漁協は、これまで破棄されていた小型マグロ類の残渣等を活用した加工品の開発を検討する。</p> <p>(3) 漁協と漁業者は、伊良部産小型マグロ類鮮魚のPRのため積極的にイベントに参加する等の活動を行い出荷量の増加を図る。</p> <p>④ モズク養殖業の規模拡大と複合経営の推進</p> <p>(1) 漁協は、特定区画漁業権の拡大を行い、養殖面積を確保する。</p> <p>(2) 漁協は、漁業権行使規則の改正措置を行い、1人当たりのモズク網の展張枚数を300枚から600枚に増やして生産量向上を図る。</p> <p>(3) 漁業者は、展張枚数初年度1生産者あたり10枚増やし、生産量向上を図る。</p> <p>(4) 漁業者は、地元由来の品種株を積極的に利用し、モズク品質の向上と生産量の増産を図る。</p> <p>(5) 漁協は、漁業者に複合経営を促進させるため、追込網漁業の従事者を中心に、モズク養殖等の兼業の可能性について検討する。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>【漁業コストの削減】</p> <p>⑤ セーフティネット事業加入の推進</p> <p>(1) 漁協は、漁業者にセーフティネット加入を促進させる。</p> <p>⑥ 減速航行、選定清掃による燃油コスト削減</p>

	<p>(1) 漁協は、漁業者に対して低速巡航を推奨し、漁業者はそれを実施することで燃油消費量を抑制する。</p> <p>(2) 漁業者は、船底の清掃を実施し、燃油消費量を抑制する。</p> <p>⑦ A 重油から軽油への船舶燃料転換の推進と燃油設備の整備</p> <p>(1) 漁協は、漁業者に A 重油から軽油への船舶燃料転換の費用削減効果について周知して、転換を促進する。</p>
活用する支援措置等	<p>【漁業収入向上対策】</p> <p>(国) 離島漁業再生支援交付金：①②③④</p> <p>(国) 競争力強化型機器等導入緊急対策事業（水産業競争力強化緊急事業）：①②③</p> <p>(市) 宮古島市水産業振興補助金：①②③</p> <p>(国) 漁業担い手確保緊急対策事業：④</p> <p>【漁業コストの削減】</p> <p>(国) 漁業経営セーフティネット構築事業：⑤</p>

2年目（令和6年度）所得向上率（基準年比）9.2%

漁業収入向上のための取組	<p>【漁業収入向上対策】</p> <p>① 島内外出荷の安定化と推進及び漁具倉庫の整備</p> <p>(1) 漁協は、漁業者が出荷する魚価の安定化を図るため、仲買人が捌けてない漁獲物の島外出荷の販路開拓に向けて、本土の業者への売り込みを行う。</p> <p>(2) 漁協は、水産業強化支援事業又は水産業競争力強化緊急施設整備事業を活用して、漁具及び漁業資材の作業保管施設の整備に向けた計画策定と基本設計を行う。</p> <p>② メバチマグロの鮮度保持による高付加価値化</p> <p>(1) 漁協と漁業者は、メバチマグロの鮮度保持技術を用いて鮮魚の鮮度保持に努め、品質の PR を行い魚価と販売量の向上を図る。</p> <p>(2) 漁協は、既存のブライン冷凍等を用いた鮮度保持技術を活用して長期間の鮮度保持を可能とする。</p> <p>③ 小型マグロなど活用した加工品開発による高付加価値化</p> <p>(1) 漁協と漁業者は、小型マグロ類の漁協直営店の売上向上と出荷先となる島内飲食店の開拓、高付加価値化を実践し出荷量の増加と買取り魚価の向上に取り組む。</p> <p>(2) 漁協は、小型マグロ類を活用した加工品の開発を行う。</p> <p>(3) 漁協と漁業者は、伊良部産小型マグロ類鮮魚の PR を行い出荷量の増加を図る。</p>
--------------	--

	<p>④ モズク養殖業の規模拡大と複合経営の推進</p> <p>(1) 漁業者は、展張枚数をさらに1生産者あたり10枚増やし、生産量向上を図る。</p> <p>(2) 漁業者は、引き続き地元由来の品種株を積極的に利用し、モズク品質の向上と生産量の増産を図る。</p> <p>(3) 漁協は、漁業者に複合経営を促進させるため、追込網漁業の従事者を中心に、モズク養殖等の兼業についての勉強の場を設け新規の就業者を募る。</p>
漁業コスト削減のための取組	<p>【漁業コストの削減】</p> <p>⑤ セーフティネット事業加入の推進</p> <p>(1) 漁協は、漁業者にセーフティネット加入を促進させる。</p> <p>⑥ 減速航行、選定清掃による燃油コスト削減</p> <p>(1) 漁協は、漁業者に対して低速巡航を推奨し、漁業者はそれを実施することで燃油消費量を抑制する。</p> <p>(2) 漁業者は、船底の清掃を実施し、燃油消費量を抑制する。</p> <p>⑦ A重油から軽油への船舶燃料転換の推進と燃油設備の整備</p> <p>(1) 漁協は、漁業者にA重油から軽油への船舶燃料転換の費用削減効果について周知して、転換を促進する。</p> <p>(2) 漁協は、船舶燃料の転換に向けた燃油施設の整備について検討する。</p>
活用する支援措置等	<p>【漁業収入向上対策】</p> <p>(国) 離島漁業再生支援交付金：①②③④</p> <p>(国) 競争力強化型機器等導入緊急対策事業（水産業競争力強化緊急事業）：①②③</p> <p>(国) 水産業強化支援事業（浜の活力再生・成長促進交付金）：①</p> <p>(国) 水産業競争力強化緊急施設整備事業（水産業競争力強化緊急事業）：①</p> <p>(市) 宮古島市水産業振興補助金：①②③</p> <p>(国) 漁業担い手確保緊急対策事業：④</p> <p>【漁業コストの削減】</p> <p>(国) 漁業経営セーフティネット構築事業：⑤</p>

3年目（令和7年度）所得向上率（基準年比）9.8%

漁業収入向上のための取組	<p>【漁業収入向上対策】</p> <p>① 島内外出荷の安定化と推進及び漁具倉庫の整備</p>
--------------	---

	<p>(1) 漁協は、漁業者が出荷する魚価の安定化を図るため、島内外出荷の販売調整を行うとともに、更なる島外出荷先の開拓を行い、PR活動を推進する。</p> <p>(2) 漁協は、水産業強化支援事業又は水産業競争力強化緊急施設整備事業を活用して、作業保管施設の実施設計と整備を行う。</p> <p>② メバチマグロの鮮度保持による高付加価値化</p> <p>(1) 漁業者は、メバチマグロの鮮度保持技術による鮮度保持の取組を継続し、安定的に高品質の鮮魚を供給する。</p> <p>(2) 漁協は、ブライン冷凍等を用いた鮮度保持技術の活用により漁期以外の販売に向けたPRと出荷先の開拓を行う。</p> <p>③ 小型マグロなど活用した加工品開発による高付加価値化</p> <p>(1) 漁協と漁業者は、小型マグロ類の漁協直営店の売上向上と島内販売の開拓と高付加価値化を継続し、更なる出荷量の増加と買取り魚価の向上を図る。</p> <p>(2) 漁協は、引き続き小型マグロ類を活用した加工品の開発を行う。</p> <p>(3) 漁協と漁業者は、伊良部産小型マグロ類鮮魚のPRを行い出荷量の増加を図る。</p> <p>④ モズク養殖業の規模拡大と複合経営の推進</p> <p>(1) 漁業者は、展張枚数初年度1生産者あたり10枚を増やし、生産量向上を図る。</p> <p>(2) 漁業者は、引き続き地元由来の品種株を積極的に利用し、モズク品質の向上と生産量の増産を図る。</p> <p>(3) 漁協は、漁業者に複合経営を促進させるため、追込網漁業の従事者を中心に、モズク養殖等の兼業を実践させる。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>【漁業コストの削減】</p> <p>⑤ セーフティネット事業加入の推進</p> <p>(1) 漁協は、漁業者にセーフティネット加入を促進させる。</p> <p>⑥ 減速航行、選定清掃による燃油コスト削減</p> <p>(1) 漁協は、漁業者に対して低速巡航を推奨し、漁業者はそれを実施することで燃油消費量を抑制する。</p> <p>(2) 漁業者は、船底の清掃を実施し、燃油消費量を抑制する</p> <p>⑦ A重油から軽油への船舶燃料転換の推進と燃油設備の整備</p> <p>(1) 漁協は、漁業者にA重油から軽油への船舶燃料転換を促進する。</p> <p>(2) 漁協は、水産業強化支援事業又は水産業競争力強化緊急施設整備事業を活用して、燃油施設の計画策定と基本設計を行う。</p>

活用する支援措置等	<p>【漁業収入向上対策】</p> <p>(国) 離島漁業再生支援交付金：①②③④</p> <p>(国) 競争力強化型機器等導入緊急対策事業（水産業競争力強化緊急事業）：①②③</p> <p>(国) 水産業強化支援事業（浜の活力再生・成長促進交付金）：①</p> <p>(国) 水産業競争力強化緊急施設整備事業（水産業競争力強化緊急事業）：①</p> <p>(市) 宮古島市水産業振興補助金：①②③</p> <p>(国) 漁業担い手確保緊急対策事業：④</p> <p>【漁業コストの削減】</p> <p>(国) 漁業経営セーフティネット構築事業：⑤</p> <p>(国) 水産業強化支援事業（浜の活力再生・成長促進交付金）：⑦</p> <p>(国) 水産業競争力強化緊急施設整備事業（水産業競争力強化緊急事業）：⑦</p>
-----------	---

4年目（令和8年度）所得向上率（基準年比）10.4%

漁業収入向上のための取組	<p>【漁業収入向上対策】</p> <p>① 島内外出荷の安定化と推進及び漁具倉庫の整備</p> <p>(1) 漁協は、漁業者が出荷する魚価の安定化を図るため、島内外出荷の販売調整を行うとともに、更なる出荷先の開拓と PR 活動を継続し、販売量向上と安定化を図る。</p> <p>(2) 漁協は、前年に整備した作業保管施設を稼働させて販売量の増加に伴う梱包資材、漁具及び漁業資材等の保管に対応する。</p> <p>② メバチマグロの鮮度保持による高付加価値化</p> <p>(1) 漁業者は、メバチマグロの鮮度保持技術による鮮度保持の取組を継続し、安定的に高品質の鮮魚を供給する。</p> <p>(2) 漁協は、ブライン冷凍等を用いた鮮度保持技術の活用により漁期以外の販売に向けた PR と更なる出荷先の開拓を行う。</p> <p>③ 小型マグロなど活用した加工品開発による高付加価値化</p> <p>(1) 漁協と漁業者は、小型マグロ類の漁協直営店の売上向上と島内販売の開拓と高付加価値化を継続するとともに、島外への出荷先の開拓の検討を行う。</p> <p>(2) 漁協は、開発した加工品と伊良部産小型マグロ類鮮魚の PR を島内外に行い、出荷量の増加を図る。</p> <p>④ モズク養殖業の規模拡大と複合経営の推進</p>
--------------	---

	<p>(1) 漁業者は、展張枚数初年度1生産者あたり10枚を増やし、生産量向上を図る。</p> <p>(2) 漁業者は、引き続き地元由来の品種株を積極的に利用し、モズク品質の向上と生産量の増産を図る。</p> <p>(3) 漁協は、漁業者に複合経営を促進させるため、追込網漁業の従事者を中心に、モズク養殖等の兼業を推進して経営安定化を図り、更なる新規就業者を募る。</p>
漁業コスト削減のための取組	<p>【漁業コストの削減】</p> <p>⑤ セーフティネット事業加入の推進</p> <p>(1) 漁協は、漁業者にセーフティネット加入を促進させる。</p> <p>⑥ 減速航行、選定清掃による燃油コスト削減</p> <p>(1) 漁協は、漁業者に対して低速巡航を推奨し、漁業者はそれを実施することで燃油消費量を抑制する。</p> <p>(2) 漁業者は、船底の清掃を実施し、燃油消費量を抑制する</p> <p>⑦ A重油から軽油への船舶燃料転換の推進と燃油設備の整備</p> <p>(1) 漁協は、漁業者にA重油から軽油への船舶燃料転換を促進する。</p> <p>(2) 漁協は、水産業強化支援事業又は水産業競争力強化緊急施設整備事業を活用して、燃油施設の実設計と整備を行う。</p>
活用する支援措置等	<p>【漁業収入向上対策】</p> <p>(市) 離島漁業再生支援交付金：①②③④</p> <p>(国) 競争力強化型機器等導入緊急対策事業（水産業競争力強化緊急事業）：①②③</p> <p>(市) 宮古島市水産業振興補助金：①②③</p> <p>(国) 漁業担い手確保緊急対策事業：④</p> <p>【漁業コストの削減】</p> <p>(国) 漁業経営セーフティネット構築事業：⑤</p> <p>(国) 水産業強化支援事業（浜の活力再生・成長促進交付金）：⑦</p> <p>(国) 水産業競争力強化緊急施設整備事業（水産業競争力強化緊急事業）：⑦</p>

5年目（令和9年度）所得向上率（基準年比）11.9%

漁業収入向上のための取組	<p>【漁業収入向上対策】</p> <p>① 島内外出荷の安定化と推進及び漁具倉庫の整備</p> <p>(1) 漁協は、漁業者が出荷する魚価の安定化を図るため、島内外出荷の販売調整を行うとともに、更なる出荷先の開拓とPR活動を継続し、販売量向上と安定化を図る。</p>
--------------	---

	<p>(2) 漁協は、作業保管施設を活用して販売量の増加に伴う梱包資材、漁具及び漁業資材等の保管に対応する。</p> <p>② メバチマグロの鮮度保持による高付加価値化</p> <p>(1) 漁業者は、メバチマグロの鮮度保持技術による鮮度保持の取組を継続し、安定的に高品質の鮮魚を供給する。</p> <p>(2) 漁協は、ブライン冷凍等を用いた鮮度保持技術の活用により漁期以外の販売に向けた PR と更なる出荷量の増加を図る。</p> <p>③ 小型マグロなど活用した加工品開発による高付加価値化</p> <p>(1) 漁協と漁業者は、小型マグロ類の漁協直営店の売上向上と島内販売の開拓と高付加価値化を継続するとともに、島外への出荷先の開拓を行い出荷量の増加を図る。</p> <p>(2) 漁協は、開発した加工品と伊良部産小型マグロ類鮮魚の PR を島内外に行い、出荷量の増加を図る。</p> <p>④ モズク養殖業の規模拡大と複合経営の推進</p> <p>(1) 漁業者は、展張枚数初年度1生産者あたり10枚を増やし、生産量向上を図る。</p> <p>(2) 漁業者は、引き続き地元由来の品種株を積極的に利用し、モズク品質の向上と生産量の増産を図る。</p> <p>(3) 漁協は、漁業者に複合経営を促進させるため、追込網漁業の従事者を中心に、モズク養殖等の兼業を推進して経営安定化を図り、更なる新規就業者を募る。</p>
<p>漁業コスト削減のための取組</p>	<p>【漁業コストの削減】</p> <p>⑤ セーフティネット事業加入の推進</p> <p>(1) 漁協は、漁業者にセーフティネット加入を促進させる。</p> <p>⑥ 減速航行、選定清掃による燃油コスト削減</p> <p>(1) 漁協は、漁業者に対して低速巡航を推奨し、漁業者はそれを実施することで燃油消費量を抑制する。</p> <p>(2) 漁業者は、船底の清掃を実施し、燃油消費量を抑制する</p> <p>⑦ A重油から軽油への船舶燃料転換の推進と燃油設備の整備</p> <p>(1) 漁協は、漁業者にA重油から軽油への船舶燃料転換を促進する。</p> <p>(2) 漁協は、燃油施設を稼働させる。</p>
<p>活用する支援措置等</p>	<p>【漁業収入向上対策】</p> <p>(国) 離島漁業再生支援交付金：①②③④</p> <p>(国) 競争力強化型機器等導入緊急対策事業（水産業競争力強化緊急事業）：①②③</p> <p>(市) 宮古島市水産業振興補助金：①②③</p>

	(国) 漁業担い手確保緊急対策事業：④ 【漁業コストの削減】 (国) 漁業経営セーフティネット構築事業：⑤
--	--

(5) 関係機関との連携

宮古島市： 水産業活性化に関する支援、地元由来のモズク種供給（海業センター） 沖縄県宮古農林水産振興センター： 漁船漁業経営、養殖業との複合経営に関する技術支援

4 目標

(1) 所得目標

漁業所得の向上 10%以上	基準年	平成 29 年度～令和 3 年度 5 中 3 平均： 漁業所得（地区総所得額） 千円
	目標年	令和 9 年度： 漁業所得（地区総所得額） 千円

(2) 上記の算出方法及びその妥当性

※算出の根拠及びその方法等について詳細に記載し、必要があれば資料を添付すること。

(3) 所得目標以外の成果目標

・モズク生産量増大	基準年	平成 29 年度～令和 3 年度 5 中 3 平均： 51.1 (単位：t)
	目標年	令和 9 年度： 76.1 (単位：t)

(4) 上記の算出方法及びその妥当性

<p>プラン開始予定の 1 年目にあたる令和 5 年度から、モズク養殖生産者 (5 人) 一人あたり毎年平均 10 枚の展張網の増加を行い、プラン期間の 5 年間で 250 枚の増加した網からの収穫 25t (反収 100 kg/枚×250 枚) の収穫量増を見込む。</p>
--

5 関連施策

活用を予定している関連施策名とその内容及びプランとの関係性

事業名	事業内容及び浜の活力再生プランとの関係性
離島漁業再生支援交付金：①②③	・マグロの鮮度保持技術向上、水産加工品の商品開発や販路拡大に向けた取り組みを行う。
競争力強化型機器等導入緊急対策事業 (水産業競争力強化緊急事業)：①②③	・宮古島沿岸・広域漁場開拓においても省燃油活動の為、漁船用省燃費エンジン等の機器導入に活用する。
水産業強化支援事業 (浜の活力再生・成長促進交付金)：①⑧	・島内外の出荷量増に備えるため漁業資材保管倉庫の整備を行う。 ・燃油転換の促進に対応できる燃油施設の整備を行う。
水産業競争力強化緊急施設整備事業 (水産業競争力強化緊急事業)：①⑧	・島内外の出荷量増に備えるため漁業資材保管倉庫の整備を行う。 ・燃油転換の促進に対応できる燃油施設の整備を行う。
宮古島市水産業振興補助金：①②③	・漁業に使用する餌、器具等の補助
漁業担い手確保緊急対策事業：⑥	・次世代の新規就業者を育成し、今後の漁業の活性化を図る。
漁業経営セーフティネット構築事業：⑦	・加入促進を図り、資金積み立てにより燃油価格の急騰に備え、漁業コストの激変を緩和させる。

※関連事業には、活用を予定している国 (水産庁以外を含む)、地方公共団体等の補助金・基金等を記載。ただし、本欄への記載をもって、事業の活用を確約するものではない。

※具体的な事業名が記載できない場合は、「事業名」は「未定」とし、「事業内容及び浜の活力

再生プランとの関係性」のみ記載する。